

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第62号
令和2年4月15日

予算の主な使い道	2
予算をチェック	7
町政のココを聞く	12
こんなことが決まったよ	23
ありゃあどうなったん?	26

すくすく伸びて 大きくな～れ!



入学おめでとう!

一歩

3月定例会

3月定例会は3月4日から3月26日まで開かれました。町長の施政方針の表明があり提出された令和2年度当初予算など96議案を慎重審議し、いずれも原案の通り可決しました。一般質問では11人の議員が、町政の課題などについてたどしました。

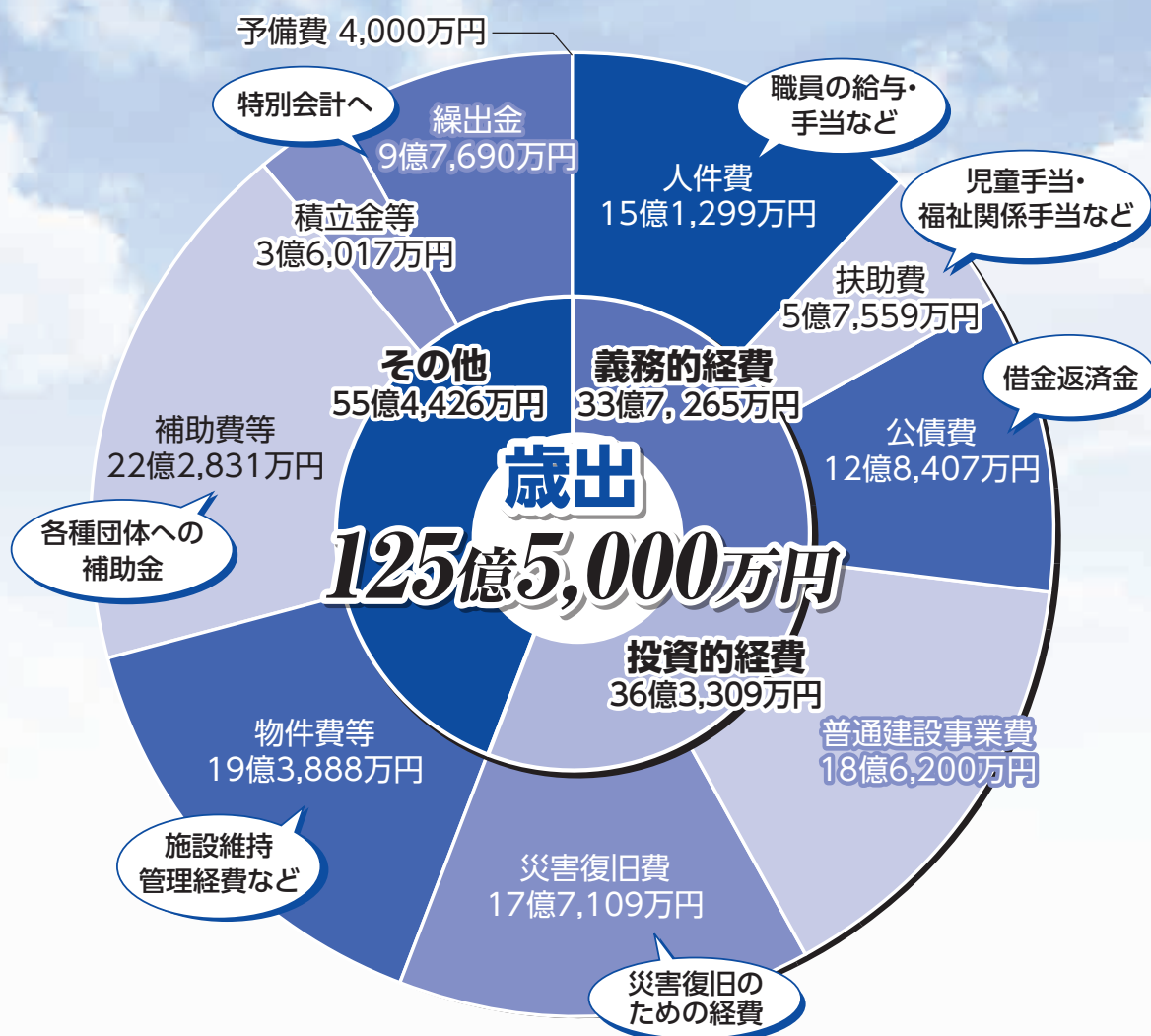
(第2次長期総合計画) 次代を担う世代へ町を引き継ぐための予算 (主なもの)

☆庁舎建設	12億9167万円
☆町立病院建設	5億8350万円
☆公立学校情報機器整備	5087万円
☆農業用施設災害復旧	7億2776万円
☆道路橋りょう災害復旧	10億5633万円

単独町費道路改良事業は全路線凍結

新年度予算の方針

庁舎・病院建設、災害復旧を最優先に「誰もが住んで良かったと実感できるまちづくり」を目指す。
歳入に見合った歳出とし持続可能な財政運営を行う。
地方交付税の減、過疎債枠の縮小など厳しい状況の中、補助事業・補助金の見直しを進める。



令和2年度 予算

全会計 **172億7458万円**

前年対比 **11.0%増**

明日への

令和2年度予算会計別総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	R1年度	R2年度	前年度比較
	当初予算額	当初予算額	増減額
一般会計	114億0000	125億5000	11億5000
国民健康保険	9億4980	10億2440	7460
後期高齢者医療	3億7920	3億7910	▲10
介護保険	18億1440	18億1600	160
簡易水道事業	2億3170	2億5000	1830
飲料水供給施設事業	3930	3800	▲130
農業集落排水事業	2億3220	2億8320	5100
分収育林事業	10	10	
総合開発事業	60	180	120
特別会計計	36億4730	37億9260	1億4530
病院事業会計	5億1434	9億3198	4億1764
合計	155億6164	172億7458	17億1294

繰越予算

6億709万円

主なもの

地籍調査事業

2143万円

公立学校情報通信

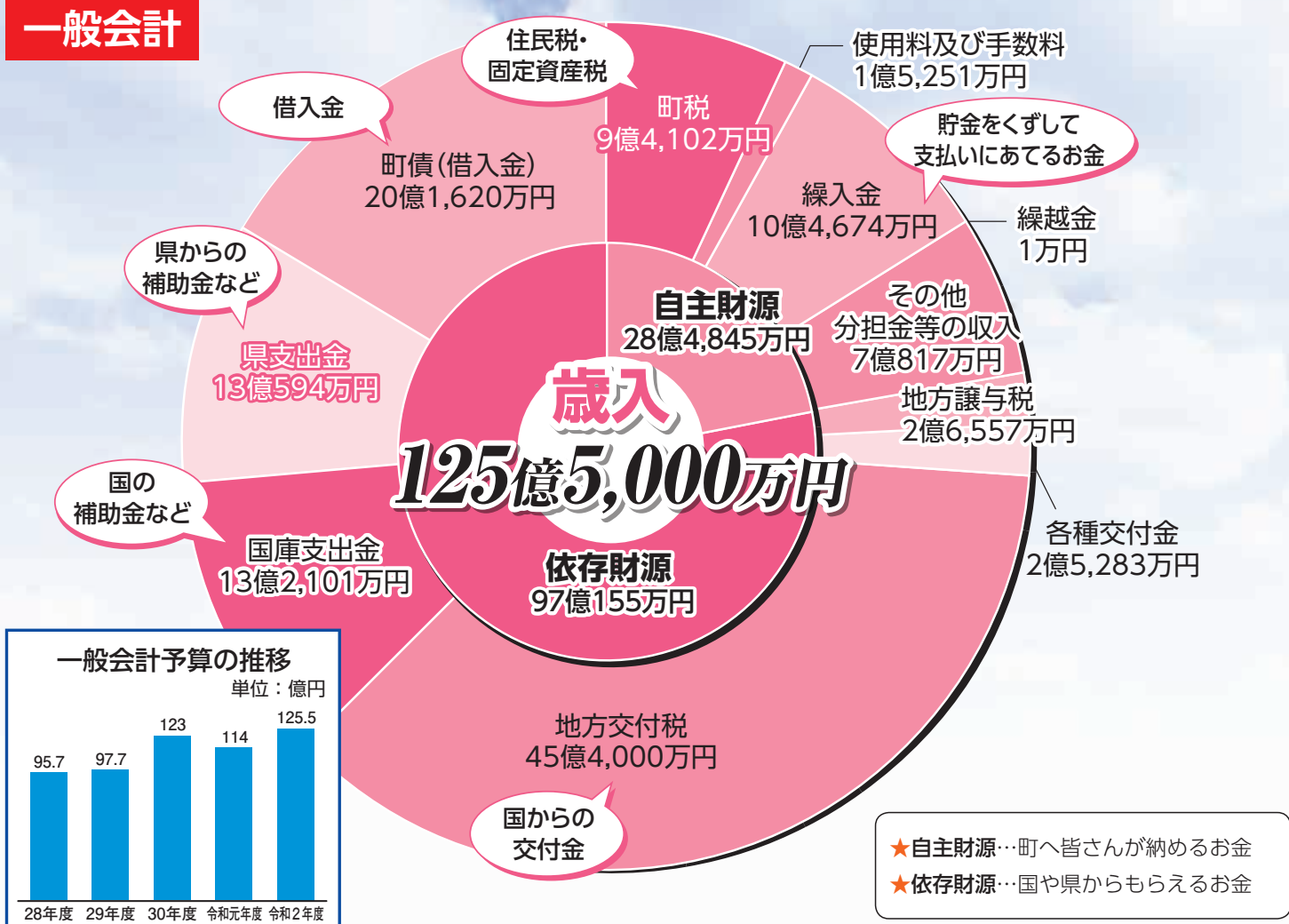
ネットワーク環境整備

1億575万円

災害復旧関連

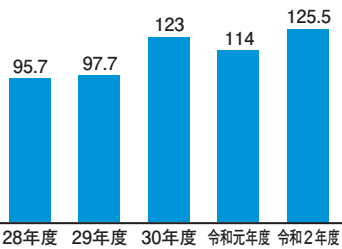
3億9790万円

一般会計



一般会計予算の推移

単位：億円



★自主財源…町へ皆さんが納めるお金

★依存財源…国や県からもらえるお金

高原のまちづくり

～令和6年)に基づく主な施策

安心して暮らせるまちづくり
町立病院建設プロジェクト



魅力に満ちたまちづくり
若者等の定住促進



安心して暮らせるまちづくり
予防接種事業



魅力に満ちたまちづくり
庁舎建設



人と自然が輝く

第2次長期総合計画（平成29年

活力ある産業と交流のまちづくり
トマト団地造成



6816万円

教育と文化のまちづくり
児童生徒へ一人一台分の情報端末配備



5087万円

一体感あふれるまちづくり
活力ある産業と交流のまちづくり
災害復旧



道路
橋りょう

10億5633万円

農業用施設

7億2776万円

一体感あふれるまちづくり
生活交通機関確保



1億777万円

だんだん厳しくなる
財政運営



- 地方交付税特例加算の終了
- 合併特例債の終了(令和6年予定)
- 過疎債枠の減少
- 災害復旧を最優先
- 庁舎・病院の大型建設事業の開始

見直された補助事業に
議論集中!

寄付金を得るための手法は。

貸付限度額や返済期間の見直しは。

チャレンジファンドの運営は

財団への運営補助金は、初年度から同額の1120万円で提案

財団の運営努力で賄えると判断



1000万円を減額修正し、再提案

保証人はとっているのか。

初期の運営補助目的は達成できているのでは。

利用者の理解を得ることが不可欠だ。

値上げをするふれあいタクシー

- 持続するため一律の値上げをしたい

利用者へは早期に個別説明する。

大幅な値上げより理解を得るためには段階的に引き上げては。

病院への利用は据え置にするべきでは。

保護者への理解は得ているのか。

給食費無償化の廃止

- 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略で5年間の期限付制度(保護者には申請時に通達済み)

今後は個別の補助から全体の教育環境整備に力を入れていく

町特有の制度である。子育て支援が後退するのでは。



高原の特徴を生かした
快適で魅力に満ちた
ちづくり
34億6056万円

協働支援センターの
自主財源

小川善久議員 センター独自の
自主財源を確保する
必要があるか。またそれ
により補助金の減額は。

まちづくり推進課長

運営上、補助金では間に
合わない事柄もあるの
で、多様な自主財源の確
保に取り組んで頂き、補
助金の減額は考えていない。

特定空き家対策

寄定議員 特定空き家
対策の具体的取り組みは。

建設課長 「空き家等
対策協議会」を設立予定

協議会では、倒壊などの
危険な空き家を特定し、
指導・勧告をする計画で

ある。

次期ごみ処理対策

木野山議員 次期構想で
は、RDF施設は不要と
なる。

環境衛生課長

広域処理に伴い中継施
設を整備し収集運搬を行
う。

中継施設の整備方針の
中で、新設対応だけでな
く、現RDF施設の改修
方法も含め検討したい。

ふるさと納税

林議員 応援奨励金
のサイト「ふるさとチヨ
イス」の手数料5%は高
すぎないか。

まちづくり推進課長

大手ポータルサイトで、
本町の寄附額の約8割程
度を占めており、手数料
は高いが、やむを得ない。

保健・医療・福祉が充
実した安心して暮らせ
るまちづくり
51億18万円

予防接種事業

寄定議員 風しん感染
防止対策の取り組みは。

保健課長 国は、昭和
37年4月2日から昭和54
年4月1日までに生まれ
た男性を対象に追加対策
を行う。

抗体保有率向上のため
クーポン券を送付し検査
と予防接種を推進。

久保田議員 おたふくか
ぜワクチンは任意接種で
積極的勧奨は出来ない
と言われるが、なぜ予算化
するのか。

保健課長 定期接種に
指定されてなく、任意接
種なので医師と相談の上
接種してほしい。

寄定議員 ワクチンの
接種公費助成は。

保健課長 本年度新規
事業として、感染力の高
いおたふくかぜの重症化
予防と、子育て世帯の経
済的負担軽減を図るため
1歳から6歳を対象に助
成する。

乳幼児健診、子育てア
プリ「にじいろほっとナ
ビ」などを通じて周知する。

ワクチンの定期接種

赤木議員 10月から口
タウイルスワクチンは定
期接種になるが、予算措
置はどうなるのか。また
制度の周知は。

保健課長 定期接種と
なるので国からの予算と
なる。

広報誌や訪問時、また
乳幼児健診時や子育てア
プリも活用し周知を行う。

不育症治療

寄定議員 不育症治療
費公費助成の取り組みは

保健課長 検査・不育
症治療費用30万円まで助
成する。

本町では、「子育て世
代包括支援センター」に
じいろ」で、保健師・助産
師が相談者に寄り添った
相談対応を行う。

政策医療交付金

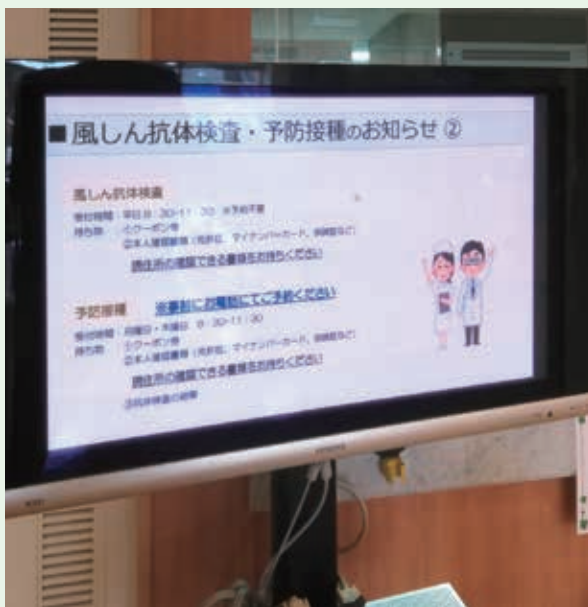
横尾議員 令和2年度
予算の政策医療交付金
が、令和元年度より約
3500万円減額になっ
ている理由は。

保健課長 平成30年度
の決算額を参考にして予
算化した。

保健委員体制

小川善久議員 農業推進委
員は令和2年度以後、廃
止することになっている。
保健委員は、どうする。

保健課長 保健委員制
度を通じ、健康に関心を
持っていただき、健康寿
命を延ばすことで医療費
などを抑えるための役目
をこれからも担っていた
きたい。



町立病院受付に掲示してある 予防接種の案内

自然と歴史を生かした教育・文化のまちづくり

4億5618万円

島外留学施策は

久保田議員 隠岐島前高校の島外留学施策を取り入れたらどうか。

教育長 油木高校は学年2学級あるので全国公募できない。

英語教育への対応

横尾議員 小学校の英語教育が来年度から本格的に始まる。先生の対応と働き方改革による時間外労働の対応は大丈夫か。

教育課長 平成30年度から全面実施に向けて準備をしている。

また時間外労働については、各学校で取り組み概ね45時間以内である。

油木高校支援の財源

赤木議員 特定財源が昨年度予算より低いが、なぜか。

まちづくり推進課長

ふるさと納税を見込んでいたが昨年は見積もりが甘かった。

使用中の情報端末は

赤木議員 国の施策で児童・生徒一人一人に情報端末が配備されるが、今使っている端末はどういった扱いになるのか。

政策企画課長 令和2年度から委員構成を新たにするので、女性の意見も取り入れられるように考えていく。

教育長

ソフトなどの関係もあり違う使い方となる。学校に置いてそのまま使用する。

女性参画の拡充

横山議員

総合戦略策定委員会など、委員構成に多くの女性を入れ、女性の意見も取り入れられるようにして頂きたい。

政策企画課長

令和2年度から委員構成を新たにするので、女性の意見も取り入れられるように考えていく。



仙養ヶ原で行われたドローンの実証実験

地域資源を生かした活力ある産業と交流のまちづくり

14億4061万円

チャレンジファンド

久保田議員 町からチャレンジ基金に資金の貸し付けをしているが、なぜ保証人を取らないか。

政策企画課長

町が出資した法人で、関係が深いため。

横尾議員 課題にある一出資に対するリスク、民間からの寄附などを得るための手法の検討」とは。

政策企画課長

常にリスクが念頭にある。財団は、各種団体に寄附のお願いしている。またふるさと納税と休眠預金の活用も検討している。

木野山議員

財団の運営努力により純資産の積立額もかなり増加し、初期の補助目的は達している。見直したらどうか。

政策企画課長

一定額の積立はできているが、まだまだ道半ばである。

木野山議員

財団への事業資金貸付も、審査に確実性を期すため、金額や内容を見直したらどうか。

政策企画課長

色々指摘があり不備な点も出てきた。その旨財団に伝えたい。

ドローン講習

小川善久議員 ドローン講習費とは。

政策企画課長

認定証を発行される講習会への参加費である。住民から参加を募り、最終的に、20人程度の資格保有者を目指す。

小川善久議員

消防との連携は。町長 役場職員や消防団員は、災害時は忙しい。地区民で、被災箇所の航空写真を撮影して頂くなど、いち早く、災害状況を把握したい。

観光振興

久保田議員

帝釈峡観光振興は施政方針にないが考えは。

政策企画課長

町で最も発信力のある観光地である。庄原市と新たな魅力作りを協議しており、まとめ次第報告する。

林議員

帝釈峡遺跡群の観光活用は。政策企画課長

教育委員会や地元の郷土史研究会の方々と連携をし、観光の目玉となるよう現在観光協会で検討中だ。

小川清治議員 町内の観光看板が老朽化し傷みが激しいが対応は。

政策企画課長

次年度から順次更新していく。

有害鳥獣駆除対策

木野山議員 駆除対策の新しい展望が見られない。踏み込んだ対策・施策提案はないのか。

産業課長 対策費が増加している割には被害額が減っていない。思い切った対策は持ち合わせていないが、全国的な事例を参考に対策を検討したい。

小川清治議員 捕獲鳥獣の残渣処理施設整備予算がない。どうするのか。

産業課長 町内鳥獣害捕獲班と議会産業建設常任委員会と産業課で協議したが、町内4カ所への設置は困難だ。

JINプレミアムのPR物品

横山議員 今後、JINプレミアム商品の認定はどのくらい増やしていくのか。PR物品はすべて町が出すのか。

政策企画課長 30品目くらいを認定する予定。PR物品は、一定の期間が来たら検討するが、当面は町で認知度を上げるためにも、町で出していく。

横尾議員 令和2年度は、町内の各種団体の補助金が減額される。PR物品の個人負担を考えては。

政策企画課長 この事業は、期間を決めての展開を考えているが、令和2年度は、このまま推進していきたい。



道の駅のJINプレミアム商品売り場

災害復旧の進捗

小川清治議員 災害復旧事業の工期は今月末となっている。まだ未着工が多く見られるがどうするのか。

建設課長 現在、災害全体件数の4分の1が復旧している。新年度残りを発注し、令和2年度復旧を目指す。

山林境界の明確化

横尾議員 境界の明確化業務と経営管理権意向調査のための予算は、来年度の森林環境譲与税だけである。令和元年度の森林環境譲与税はどうするのか。

産業課長 基金に積んでいる。令和2年度の調査状況を踏まえ、必要に応じて補正で対応する。

交通・情報通信基盤の整った一体感あふれるまちづくり
13億9824万円

ふれあいタワシー

木野山議員 利用料の見直しは大幅値上げとなった。スムーズな移行には利用者の理解を得ることが不可欠だ。対応は。

総務課長 お願ひ文も併せ改正内容を個別に送付するとともに、町広報誌に内容を掲載する。

横山議員 料金の見直しは、利用者に理解は得

られるのか。通院料金だけでも600円を維持できないか。

総務課長 病院の利用についても、利用状況など検証して持続可能な制度にしていきたいので、利用者の皆様にもご理解を頂きたい。

長寿命化橋梁改修

寄定議員 長寿命化橋梁改修の取り組みと今後の計画は。

建設課長 点検を実施してきた橋梁の修繕は新年度5橋を計画。今後、令和3〜7年度まで7m以上の40橋梁を計画。



検討される支所の充実

計画の推進のために
1億6468万円

支所機能

久保田議員 支所の方向性は。

総務課長 段階的に職員を削減。

補助金の見直し

久保田議員 補助金は有効に活用されているかチエック機関を確立しないのか。

総務課長 見直し基準に沿い、適切に使われているか検証している。

太陽光発電の税收

林議員 太陽光発電による税收は次年度、どれくらいあると見込んでいるか。

住民課長 令和元年度は太陽光発電設備に関する固定資産税額約2820万円。令和2年度には今年度より約600万円程度の税額が増収になる見込みだ。

討論

一般会計

反対1人

反対討論

林憲志議員

反対理由は以下の事業が令和2年度予算に組み込まれているため。

- 1 新庁舎建設
建替えの理由として地震による倒壊があるが、町には活断層が発見されていない。財政出動が町の体力に見合わない。
- 2 森林環境譲与税交付に伴う森林経営管理推進事業
大型機械を使った森林経営は、環境保全とは矛盾する。
- 3 ふれあいタクシー事業
病院行き運賃の差別化など、料金体制の再考を求める。
- 4 協働支援センターと支所との二重行政
地域の協働支援センターの住民サービスの見直しを。
- 5 GIGAスクール構想
審議が不十分。端末の保守は町の財政を圧迫。

賛成10人

賛成討論

藤田晃己議員

当初予算編成にあたっては特別加算の終了により地方交付税も7千万円減少しており、税収も人口減少や高齢化の影響で、1.5億円の減少が見込まれる中、各種事業の徹底した経費節減、各種補助金の見直しなど苦渋の判断ではあったと思う。

事務事業は将来の財政事情を考慮して、無駄や無理をなくし効率的に取り組んでほしい。
以下意見を申し添え賛成討論とする。

- 1 重要な事業の執行においては事前に議会・住民に十分説明し、理解を得ること。
- 2 ファンド事業については運営費の自助努力を財団に申し入れること。
- 3 ふれあいタクシーについては、病院利用者について考慮すること。正しい利用については業者・利用者に理解を求めること。

令和2年度 当初予算 議員賛否表

○=賛成 ×=反対

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
神石高原町 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
国民健康保険 特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
分収育林事業 特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

その他は全員が賛成 議長は採決に加わらない

3月補正予算



特別会計を含む

補正予算
総額 ▲7億1143万円

補正後
予算現計 155億2129万円

注目補正事業

災害復旧費

▲5億6806万円
工事の受け手不足などで次年度へ繰越

トマト栽培団地造成

▲170万円 造成工事面積の減

公立学校情報通信ネットワーク環境整備

1億575万円
校内LAN及び電源キャビネット整備

チャレンジファンド運営

▲3500万円
支援額が貸付金の範囲内であるため

コロナウイルス対策関連

- ・保育所施設等管理 10万円
感染症対策消耗品購入
- ・放課後児童クラブ管理 25万円
開所時間増に伴う人件費

政策企画課

チャレンジファンド

横尾議員 チャレンジ
ファンド運営事業に関する
3500万円のマイナ
ス補正の理由は、

政策企画課長

財団法人の運営費の5
00万円と財団の審査が
厳しいため貸し付け案件
が少なく、3000万円
の減である。

総務課

予算の執行

赤木議員

定例議会で
その都度補正したにも関
わらず、なぜ6億もの減
額があるのか。

総務課長

事業費の確
定による減額及び災害復
旧工事未着手分。

産業課

新規就農者支援

木野山議員 新規就農者
への生活支援など経済的
サポートも必要と思う
が、現状は、

産業課長

現在13人が
新規就農されている。
就農者も増加して現在
は、JAや県と連携し、
分業サポート体制をとっ
ている。当初の全面サ
ポートの考えは堅持して
いる。

森林経営

管理推進事業

林議員

町内の山は
森林施業にバラつきがあ
り、土砂災害を頻発しや
すくなっているのでは。

産業課長

担当課とし
ても認識している。森林
環境譲与税を活用する事
で、整備が均一化されて
いくことを期待したい。

林議員

林政アドバ
イザーが設置されたが、
森林施業に対するアドバ
イスはどういう形で行わ
れるか。

産業課長

山に対する
知識も豊富で、現地の間
伐や、町がこの整備計画
を行っていくうえでアド
バイスを頂き進めていく。

教育課

GIGAスクール 構想

木野山議員 文科省の教
育方針なのだろうが、全
体事業費の40%程度しか
国費がついていない。財
政部局はもっと国や県に
交渉すべきでは。

副町長

エアコン整
備の時も同程度だった。
今後はあらゆる分野で
県を通じ国へ要望してい
きたい。



独立を目指す新規就農者

町政の「こ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします
全文については順次更新しますので、町ホームページをご覧ください。



横尾 正文 議員

問 来年度の基金からの繰り入れは

答 財政調整基金から4億9000万円



問 来年度予算への財政調整基金からの繰り入れは。また来年度以降の財政の方向性は。

答 町長 昨年より1億4000万円少ない4億9000万円となり、財政調整基金残高は、42億円となる。

地方交付税の減少に伴い、平成28年度の当初予算から繰り入れによって財源不足を補ってきたが、基金にも限りがあるので財政健全化の取り組みが

課題となる。
事業の選択と集中による「財政の健全化」と「施策の推進」に取り組む。

分収造林

問 分収造林の整備計画は。

答 町長 令和2年度における分収造林計画は、油木入谷地区約50haを計画している。

問 森林環境譲与税による事業展開は。また森林整備計画の変更は。

答 町長 地籍調査未完了地区の境界明確化100haと、経営管理権意向調査業務668haを計画している。

なお、森林環境譲与税は森林整備計画を促進させるための財源であって、

計画の変更を伴うものではない。

問 地域林政アドバイザリーの活動や仕事は、この税によってどうなるのか。

また、林地台帳の作成は出来ているのか。

答 町長 森林環境譲与税に関係なく、森林整備計画の策定や経営計画・育林計画など、森林整備に関する業務全般に

対するアドバイスを主な業務としている。

林地台帳システムは、広島県の平成30年度事業により構築され、令和元年度にはシステム端末が各市町に設置され供用開始している。

問 経営管理権意向調査アンケートの活用は。

答 町長 このアンケートの回答をもとに経



順次間伐整備される林地

営計画書の作成業務を意欲と能力のある林業経営者に発注するよう考えている。

答 産業課長 全町での実施までは約5年を予定している。

企業誘致

問 昨年実施した企業合同説明会を計画的に実施すべきでは。

答 町長 新年度からは、新卒者の就職活動に合わせた形と、転職者に対応した求職活動を定期的に実施していく予定である。

町内企業が人手不足の状況は認識しているので、商工会や法人会と密接に連携し、有効な企業合同説明会を実施していく。



橋本 輝久 議員

問 将来的に安心できる財政計画を

答 歳入に見合う財政実現へ

町長

問 誰でも挑戦できるまちづくりとして、町民の負託にこたえられているのか。

答 町長 環境づくりやモチベーションの向上を目指し、それぞれの分野においてまちづくりに取り組んでいる。まだまだ取り組みが十分であるとは言えない。

第2期総合戦略や各種取り組みをしっかりと進めて行きたい。

問 これまでの事業を検証し、どのように今年度に反映しているのか。

答 町長 生き生きと安心して生活が出来るまちづくりに邁進してき

た。8つの挑戦をテーマに、種々の取り組み全てが、町民が安心して暮らせ、次代に引き継いでいくためと考えている。

問 将来的に安心できる財政計画は。

答 町長 進めている庁舎・病院事業債の償還が最大となる令和9年度までに、歳入に見合う財政規模を実現するため、次の施策に取り組んでいく。

①人件費は、現在策定している定員適正化計画に従い、職員数の削減を進める。

②公債費は、起債の借入を、低利率の財政融資を基本に、過疎債や合併特例債など交付税算入率の高い有利な起債を優先的に活用する。

③投資的経費は、新規事業計画の策定と併せて財政推計を行い、計画的な財政運営を行う。

④その他経費は、施設修繕については、施設の

個別管理計画を作成し、既存施設の利用状況や必要性を見極めた上で、施設の長寿命化・廃止・集約・統合・新規整備の抑制など維持管理コストの低減と公共施設の最適化を進める。

⑤遊休財産については、企業誘致などでの利用と併せ処分を進める。

⑥指定管理・民間委託を積極的に実施し、行政組織のスリム化を進める。

⑦各種補助事業の見直しを行い（※KPIの検証）、経費の抑制を進める。

問 行政改革の基本的考えは。

答 町長 社会情勢や地域的課題を踏まえ地域の住民ニーズに的確に対応することが求められており、今後は、ICTや※RPAなどの活用が重要になると考えている。



ITが進む戸籍システム

※KPI＝目標値に対し今の状況をしめす指標

※RPA＝ロボットによる効率化

問 通院利用は600円に据え置きを



答 財政がきびしく、困難だ。



久保田 龍泉 議員

問 町内料金600円から900円に50%大幅値上げになるが、決定プロセスは。

答 町長 監査委員より財政負担が増加しており、見直しを検討する事や議員からも財源の確保、制度の見直しを指摘された。地域公共交通協議会で了承された。

問 600円を900円に引き上げるよう指摘があったのか。

答 バス路線廃止代替支援事業は廃止、利用回数は20回、大型車は3000円に見直しだが、小型車は通院利用が多いので据え置くべきだ。

答 総務課長 数字の指摘はない。利用者の4割は通院で6割は病院外の利用だ。3000円の引き上げで900万円の財源が確保できる。

一律の引き上げしか考えられない。

問 利用者の意見はどの程度反映されているか。

答 総務課長 中国運輸局が無作為に75歳以上1000人を対象にアンケートを実施し、値上げに賛同は4〜5割ある。

問 町外医療機関通院制度は、事前に診断書を提出する必要がある。急な受診がある場合、診断書は用意できず、窓口領収書で半額負担を認めるべきだ。

答 総務課長 突発的なことも想定されるので、検討する。

チャレンジ基金

問 昨年3月フェアトラベルジャパンに担保を取らず1000万円支援しているが、豊松地区笹尾の空き家改修工事は今だ未着工だ。1年たっても完成しないなら返金を求めるべきだ。以前の答弁と違うが現状は。

答 政策企画課長 日韓関係で遅れている。部材の通関検査を行っており、許可が下り次第工事に着手する。

問 この制度を存続するため、先に支払いして1年もできないなら返金を求めるような不信感を払しょくする制度にしたらどうか。

答 副町長 中身の運用制度は変える考えはない。国の情勢で、法人に対しての責任はない。

給食費無償化の廃止

問 小中学校給食費は現在無償だが、新年度から廃止すると、子育て支援の後退になる。町独自の制度であり継続できないか。

答 町長 5年間の限定制度であり、1億円で、小中学校全員にタブ

レットを購入するなど学校の教育環境整備に転換したい。

問 消費税は引き上げられ、経済的に大変な時、無償化から、全額カットする手法はいかがなものか。一部負担とか、激変緩和など、努力すべきだ。

答 教育課長 別の制度で対応できると考えている。



元気に給食を食べる児童



小川 清治 議員

問 持続可能なまちづくりへの財政状況は

答 歳入に見合った歳出で取り組む

町長



問 過去最大の予算規模となった令和2年度予算案だが、今後の持続可能なまちづくりへの財政状況は。

答 町長 国の補助金や有利な起債、目的基金の繰入など財源を確保をし、予算編成をした。

今後、災害復旧や庁舎・病院建設事業などの償還が令和9年度にはピークとなる。

将来負担を考慮した施策で歳入に見合った歳出の実現に取り組む。

障がい者支援

問 障がいのある方への積極的な支援は。

答 町長 障がい者の社会参加を支援する取り組みや目標をつくり、挑戦できる環境づくりを行なっている。

福祉作業所で働く利用者の雇用促進につながる新しい仕事を、企業と調整している。



クッキーづくりをするゆき作業所

問 第2期総合戦略では2024年までに新たな障がい者施設を誘致して雇用の確保とあるが、具体的な計画を伺う。

答 町長 まだ施設に入れない障がい者の方がおられるので、施設を誘致したい。

間伐材の活用

答 町長 標準伐期齢未満は10年に1回、標準伐期齢以上は15年に1回間伐している。

育林間伐は毎年100ha実施し、搬出間伐材は用材木やバイオマス用チップとして活用している。

道の駅

問 道の駅が、まちの資源として町全体へ波及していくための取り組みは。

答 町長 オープン以降対前年比売上が12月12.1%、1月は14.1%と伸び、出荷意欲の向上に繋がっている。出荷が少ない時期には、道の駅から集荷に出向くなど検討中だ。

観光協会も、道の駅に拠点を移し、町全体への波及も期待している。

問 駐車場の確保は。

答 産業課長 駐車場拡張も計画していたが、事業費を抑えるため最小限となった。イベント時には周辺の空き地を賃借するなどの対応をしたい。

森林セラピーの促進

問 森林セラピーの促進と今後は。

答 町長 健康と観光を併せた観光地づくりや、農を通したツーリズムを推進していきたい。

新型コロナウイルス

問 新型コロナウイルス対策は。

答 町長 1月30日に町感染症対策本部を設置し、町民の皆様と一丸となって感染症対策を進めていく。

問 第2期総合戦略の基本的考え方は



答 住む人々の満足度の充実を最優先



木野山 孝志 議員

問 第2期「神石高原町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は目先を地元住民に向けられ、より地に着いた施策となるものと大いに評価するが、その基本的考え方を伺う。

答 町長 ここに住み続ける人々の満足度を充実させることを最優先に考え、内発的な取り組みと成るよう手法を変えた。

転入転出の均衡に結び付くと確信している。

補助金の見直し

問 この度の補助金の見直しは従来とどのように異なるのか。見直しの基本的考え方は。

答 町長 平成27年に策定した見直し指針「公益性・効果性・公平性・団体の適格性」に定量的評価、または定性的評価を加え評価項目を統一し、総合的評価を行った。社会情勢の変化に応じて公益上の必要性や行政推進上の有効性が変化してきている。

補助金は、公益上必要がある場合に限られており、その財源は貴重な税金であることを基本に踏まえ、有効に活用し、効果的・効率的かつ適切な執行がされるよう取り組む。

問 財政が厳しい中で新しい創造の事業に取り組んでいる。貴重な税金なので公益的な法人

といえども運営費や一般管理費に相当する補助はシビアに見ていくべきだ。

ふるさと納税の活用

問 NPO法人に対する交付金は、寄附者の意向に比べ、本町のふ

るさと納税経費相当額を差し引いた額をそのまま交付されている。特定プロジェクトに対する交付金においても、法人の一般管理費も一定額をプロジェクト経費と解し、その使用を認めている。一般管理費を充当することは、目的外使用ではなく寄附者の意向に沿っ

ていると解され問題がないのであれば、本町の一般管理費もその一定額をふるさと納税事務経費に計上し、差引額をNPO法人への交付額としたらどうか。

自主財源の少なさから、起債などに頼った財政運営を行わざるを得ない現状を踏まえ、財源の確保は最重要課題である。ふるさと納税を有効に活用することは、寄附者が在住する他市町にも納付してもらえないのでは。

地域で盛り上がる高蓋芸能祭り



答 町長 協働の担い手であるNPO法人に対するまちの財政支援は、町財政状況を考え、団体の財源確保のため行政の役割として、ふるさと納税の仕組みを活用している。

町の財源確保のために必要経費以上を町の経営財源とすることは、寄附者の意向に配慮するものではなく、意向に反するものだ。



藤田 晃己 議員

問 今後の町政運営の思いは

答 引き続き全身全霊で尽くしたい

町長

問 入江町長の任期もあと8ヶ月となり、災害復旧はもちろん、8つの挑戦を確実なものにするため、引き続き取り組む責務があると思うが、

答 町長 この3年間は今後は、引き続き取り組む責務があると思うが、

答 町長 この3年間は今後は、引き続き取り組む責務があると思うが、

これから災害復旧を最優先に、庁舎・病院の新築移転事業を初め、第二期総合戦略の推進、農業・商工業・観光産業のさらなる振興、全国へ発信できる町の魅力づくりなどに取り組む課題がある。町民の負託が頂けるの

であれば、志を新たに本年12月5日以降も町長として、本町の運営、まちづくりを全身全霊で尽くしていきたい。

問 今後も神石高原町を継続することが出来るか。

答 町長 もちろん、次代につないでいくためのまちづくりを最大の課題として取り組んでいる。

今後の財政推計では、歳入について、普通交付税は合併算定替の終了と国勢調査人口の減少により令和5年度頃には約41億円程度になる見込みだが、令和元年度と比較すると約3億円減少、町税収入も年々減少し、8億円を下回ると推計している。

歳出に於いて、人件費は職員数の削減を進める。扶助費はほぼ横這いで推移する。公債費は、令和2年度は災害復旧事業の償還が始まることにより13億円

程度を見込んでいます。令和3年度以降も、合併特例債前倒し事業や、庁舎・病院建設事業の償還が始まり、13億から14億5千万円となる見込みです。

投資的経費は庁舎建設や災害復旧事業に伴い令和2年度は36億円となる見込みです。

その他の経費は約20億円から18億円程度と見込んでいる。物件費は18億円程度を見込んでいる。

今後の予算規模については災害復旧や庁舎・病院建設が完了する令和4年までの間は、約100億円を超える予算規模となる見込みで、病院開院後は95億円から90億円となると推計している。



3月定例会（執行者側）

補助金削減が福祉後退にならないか

町長

答 見直しで持続可能なまちづくりを



寄定 秀幸 議員

問 補助金の削減や、ふれあいタクシー料金の値上げなどが、住民サービスの低下や福祉後退につながるのではないか懸念する。

答 町長 補助金の歳出全体に占める割合が非常に高い状況が続いている。持続可能な町政運営に向け、限られた財源の効果的な活用と、適正な補助制度の構築・補助金の見直しを進めなければならない。

ふれあいタクシー事業は、年々事業費が増加する一方で、有利な財源確保が困難となってきた。制度の継続をするために利用料金の一律引き上げ

と利用回数制限の引き下げなどを行う。

機構改革

問 「子育て応援課」創設による子育て支援充実への取り組みは。

答 町長 第二期総合戦略では、「子育てしやすいまちづくりの推進と将来を担う人材づくり」、「若い世代が働きたくなる職場や環境の確保」を、重要な視点として掲げている。

子育て支援の実施を一元化するため、「子育て応援課」を設置し、子育て支援体制を強化する。

GIGAスクール構想

問 GIGAスクール構想への取り組みと課題は。

答 教育長 1人1台のタブレット型端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することであり、多様な子供たち1人1人に資質・能力が一層育成できる教育ICT環境を充実することなど、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこととされている。

本町においても、これまでの教育実践の蓄積に加えて、ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る必要がある。

今後、「教育の情報化に関する手引き」を基に研修を進め、学習活動の一層の充実を図りたい。

問 ICT支援員の配置が必要では。

答 教育長 本格的に検討したい。



防災機能強化が課題の道の駅

防災減災対策の充実

問 国土強靱化地域計画策定による防災・減災対策の充実強化は。

答 町長 県、広島市に次ぐ3番目の団体として策定できた。今後、本計画の策定が無ければ各種施設に対する国の財政的支援を受けることができない重要な計画である。本計画を指針とし、各分野において取り組みを進める。

問 道の駅の防災機能強化を推進すべきでは。

答 町長 国土強靱化地域計画において、道の駅を防災拠点として位置付けている。トイレ改修など、防災拠点としての機能強化を図っていき

その他の質問

・産廃施設の行政処分に
ついて



小川 善久 議員

問 人口増加対策の手法は

答 安心幸せプラン2024を遂行する

町長

問 これからの人口対策の考え方は。

答 町長 人口減少が続く中、いかに減少傾向を抑制し、社会増対策に取り組みかが効果的と考えている。

問 人口増加対策の手法はどうする。

答 町長 第2期総合戦略ではテーマを「安心幸せプラン2024」としている。これは、今住んでいる町民が、安心して生活し、住んでよかったと幸せを実感でき、本町に誇りをもって暮らすことで、町外の方にも感じてもらう、移住定住に繋がるとの考えだ。こうした考えに沿って、

本町が「暮らしやすい」と思ってもらえるまちづくりに取り組み。

総合戦略 各種事業

問 親と子の居場所事業とは。

答 政策企画課長 まちづくり懇談会の話し合いの中で、「気軽に親子が集まり、気軽に話ができるサロンのような場所があるといいよね。」というものがあつた。そういう居場所づくりを検討していきたい。

問 子ども居場所事業はコミュニケーションスキル導入が必須となっている。学校との連携は。

答 まちづくり推進課長 令和2年では、導入に向けて教育委員会が検討される。

問 地域学習の導入事業の「大人の地域学」とは。

答 政策企画課長 若い世代が、郷土に誇りをもつ大人に育成するために、地域の良いところを学んで頂く事を目的とする。

問 給付型奨学金事業は、大学などを卒業後、社会人として期間限定で実践の場を経験させてから、町へUターンさせた方が良いのでは。

答 政策企画課長 地元の人々が、スキルアップをした学生を直接支援することで、学生も「地元の人々の為になりたい」「帰って来たい」と思ってもらえる奨学金制度である。まずは、財源や地元の人との係わり合いなど、仕組み作りから考えたい。

問 特産品開発及び販路拡大事業は。

答 産業課長 道の駅などを考えるが、町民から提案を頂ければ、ブラッシュアップをしながら対

問 町内の通信設備の充実事業の中で、宅内無料無線（フリーワイファイ）の推進は。

外的に売っていききたい。



神石高原町まちづくり懇談会の様子

答 政策企画課長 観光協会が、道の駅やビレッジハウス仁吾川など観光施設を中心に設置を進めている。

問 発達障害への対応は



林 憲志 議員

答 健診や保護者と一緒に気づく形だ



町長

問 発達障害の早期発見への対応は。

答 保健課長 乳幼児健診や1歳半・3歳児健診、保育所の年長児の巡回相談、就学健診、健康診断などや、保護者から相談の中で一緒に考えていく形で気づくというところを進めている。

問 発達障がい児は、普通学級で共に学ぶ勉強方法が良いのでは。

答 普通学級と特別支援学級の振り分けは、親の承認が必要か。

答 教育長 教育支援委員会会で色々な判断がなされるが全てではなく、保護者の想いを重要視し

て、特別支援学級であるか、あるいは通常学級であるかは決定していく。

新型
コロナウイルス

問 学校が休業しているが未履修への対応は。

答 教育長 卒業生については、大体履修が完了しているが、若干未履修の部分があるので、進学先の学校と連携をして補う。在校生は次年度の新学期が始まってからいくらかの対応ができる。

問 学童保育の感染リスクの対応は。

答 福祉課長 シルバー人材センターに委託しており消毒液の配置・検温・換気をお願いしている。検温で熱があった場合は、すぐに保護者に連絡し自宅に連れて帰って頂いたこともあり、そういう形で対策に十分配慮している。

町が目指す森林

問 神石高原町の目指す複層混交林化は、全伐で裸地になったところや、間伐の度合いが広すぎて崩落の恐れがあるような場所、まずそこから植林してはどうか。

答 産業課長 町の森林整備計画の基準で行っており、広すぎるという認識は持っていない。

問 過間伐施業で明るすぎる檜林がたくさんあり、林床が乾いている。このままでは健全に育たない。

答 産業課長 森林整備計画で樹高によって、どの間隔で間伐していくべきよいかと言う、基準を設けているので、これに準じて施業を行なっている。

問 その施業や路網整備がうまくいっていない。大造山国有林が崩落したが、間伐の度合いが

広すぎる。作業道の幅員が広く、水がたまって落ちた形跡がある。このやり方では、第2・第3の崩落は起きる。

答 産業課長 施業するための路網整備のところで、法線を決める際の技術的なことも考慮に入れた上で、災害を誘発しない方法で取り組んでいる。



本町で繁殖する絶滅危惧種のクマタカ



豪雨で崩落した作業道



赤木 俊二 議員

問 なぜ補助金の見直しが加速

答 これからの財政運営を考慮

町長

問 交付税の減少は予測されていたが、なぜ補助金の見直しが加速したのか。

答 町長 交付税は合併特例加算の終了もあり減額が続いている。歳入に見合う歳出の実現を掲げ、業務や事務事業の見直しを行ってきた。しかし、第1期総合戦略の計画は5年間、不足分に財政調整基金を投入しながらでも取り組まざるを得なかった。

第2期目の計画を前にこれからの財政運営を考慮した取り組みをするため見直しとなった。

問 補助金の見直し以前に行うことがあるのか。

ではないかといった町民の声がある。どう受け取っているのか。

答 町長 いろいろな意見は聞いている。地域活性化ドラマの撮影はPR効果2000万円程度の効果が試算されている。中国でも配信の予定があり米や特産品の輸出につながる可能性がある。

まると日本でのPRは製品の販売は好調であり出品が出来なくなるのは残念との声もある。成果は出ている。

問 補助金の見直しの基本的指標は。特に福祉関係に関しては注意を払う必要があるのか。

答 政策企画課長 見直しは公益性が高いか、ニーズに合致しているか、事業が社会と合致しているか、会計が適正で情報公開されているかななどを根拠としている。

福祉に関しては、補助金と扶助費のあり方を考

えて、担当課などとして協力する必要がある。

問 継続して補助している農業団体などへの見直しは、行政として無責任では。

答 町長 補助金がなければ行き詰るというケースは十分あり得る。大規模化を視野に据え、変化に対応できる運営の仕方を一緒に考えていく必要がある。

令和2年度からそういった議論をする場をつくっていく。

問 大規模化にそぐわない農地で頑張っている農業経営体に対してはどうか。

答 町長 畑にするとか高収益作物への転換など、ある程度農地の範囲を決めて方向を考える議論をしていきたい。

問 補助金の考え方は住民の方にしっかり説明し理解を得るべき。

答 町長 住民の方に理解を頂くというのは重要だ。できるだけ早い段階で説明できる方法を考える。

問 特に優先する補助や施策はなにか。

答 町長 未来への投資と魅力ある神石高原町をつかっていくために何をやるべきかを考えながら実行したい。



規模拡大が難しい農地

問 8つの挑戦の総仕上げとは



横山 素子 議員

町長 答 次世代に引き継ぐ基礎づくり

町長 どの挑戦も凍結するような挑戦はない。

問 新年度予算編成にあたり、8つの挑戦を検証し、ここで一旦凍結すべき挑戦はなかったか。

答 町長 先人から引き継いだこの町を次世代へしっかりと引き継いで行くこと。一定の理解は得られているが、まだ説明が足りない部分もあるのでしっかりと取り組んでいく。

問 8つに挑戦の総仕上げとは。また、その取り組みについて住民からの理解は得られているか。

答 町長 補助金は運営費の補助をするもので、扶助費ではないという事を理解して頂きたい。

問 この度の補助金見直しをするにあたり、住民や各種団体から理解は得られているのか。

道の駅

問 道の駅の新商品開発の内容は。

答 町長 現在4品を道の駅でテスト販売しているが、旬の野菜に付加価値をつけ、道の駅オリジナル加工品の開発に取り組む。

答 町長 現在の4品を道の駅でテスト販売しているが、旬の野菜に付加価値をつけ、道の駅オリジナル加工品の開発に取り組む。

答 町長 百彩館の売り上げの減少が懸念されるが、今後は百彩館のみならず、都市部への販路拡大事業に取り組む。

定住促進

問 定住促進の強化で、井関第2定住団地などの整備計画の今後の見通しは。

答 町長 井関第2定住団地と油木新岡団地は、災害復旧を優先するために、中断している。

豊松新平谷団地は、募集を始めた。

問 坪8円で販売された区画に1世帯が契約済みと聞いているが、新年度より、学校給食費無償化の廃止というのは、契約された方にご説明するのか。

答 総務課長 子育て支援制度は場合によって異なる。



道の駅、182カフェの注文カウンター

病後児保育

ては、変更もあると伝えられている。今後も丁寧の説明をして理解を得たい。

問 病後児保育の検討の具体的な内容は。

答 町長 保護者を対象にアンケートを取り、具体的なニーズをつかみ、子育てしやすい環境づくりに努めていく。

問 看護師・保育士不足の中、大変だとは思いますが、対象年齢は何歳か、またどこに付設するのか。

答 福祉課長 病後児保育については第2総合戦略の中で、5年うち1カ所の設置を目指していく。

アンケートの結果をみて、施設型か訪問型など具体的な事を検討していく。

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

<p>条例の制定 賛成多数</p> <p>附属機関の設置に関する条例 ・執行機関の審査会や委員会など</p>	<p>指定管理者の指定 全会一致</p> <p>新規 豊松屋内グラウンド ・豊松協働支援センター</p>
<p>条例の整備(一部改正) 賛成多数</p> <p>地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 上位法令の改正に伴って町の条例を変えました 参事の身分を会計年度任用職員になど</p>	<p>継続 神石高原町 きのこの森 ・一般社団法人 神石高原町観光協会 継続他48件</p>
<p>条例の一部改正 賛成多数</p> <p>国民健康保険税条例 ・保険料微増(国民健康保険広域化のため)</p> <p>神石高原町行政組織条例 ・子育て応援課、保健福祉課の創設 子育て支援充実のため</p> <p style="text-align:right">他12件</p>	<p>工事請負契約の変更 全会一致</p> <p>工事名 神石高原町庁舎・病院敷地造成工事 請負金額 3億7950万円→3億8929万円 請負者 児玉建設株式会社 工期 至 令和2年8月14日</p> <p>工事名 豊松山村広場三壘側法面復旧工事 請負金額 6359万円 請負者 横山建設株式会社 工期 至令和2年3月31日→令和2年6月30日</p> <p style="text-align:right">他1件</p>
<p>人事 全会一致</p> <p>人権擁護委員推薦の同意 新任 小坂 依文さん</p>	

条例討論

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

反対 久保田議員

参事職の設置により職員の人材育成が出来ず行政改革に逆行すると考える。よって設置条例の一部改正には賛同しない。

反対 林議員

会計年度任用職員は非正規職員を合法化するもので非正規化を進めるものと考え、公務の持続性を逸脱する恐れがある。

賛成 赤木議員

特別職の任用及び臨時的任用の厳格化は必要であり、会計年度任用職員制度の導入による一部改正は適切なものと考え賛成する。

意見書

新たな過疎対策法の制定

提出者 寄定秀幸 議員
賛成者 木野山孝志 議員

決議

新型コロナウイルス感染症対策

提出者 久保田龍泉 議員
賛成者 木野山孝志 議員

議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定秀幸	藤田晃己	木野山孝志	小川清治	久保田龍泉	橋本輝久	横尾正文	横山素子	赤木俊二	林憲志	小川善久	松本議長
神石高原町附属機関の設置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例整備に関する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

その他は全員が賛成 議長は採決に加わらない



議 長 くろかわ りん 黒川 凛
 事務局長 やまむら そうた 山村 奏大



《神石高原中学校》

こばやし
 小林 のい
いわもと いつき
 岩本 乙希

「神スタグラム」でPR

神石高原町のいいところを知ってもらうため「神スタグラム」という画像投稿サイトを作っている。

PR活動のための看板を設置したり、県のHPに掲載させて欲しい。



《三和中学校》

かわもと せいご
 川本 晴碁
なわ ゆうた
 名和 優太

カープとのコラボ商品で知名度アップ

職場体験で学んだ町の弱みは知名度不足だ。

これを補うために広島東洋カープと町内産のデニムや木材を利用したコラボ商品開発で支援・アピール。



《神石高原中学校》

かじはら たくろう
 梶原 琢朗
ふじい あかり
 藤井 明香里

空き家の利用で地域の活気を

空き家を減らせば活気を取り戻すことができるのではと思い、一部地域の空き家を新しい施設にすることを提案する。

空き家を利用した休憩所の設置は。



未来に向けて

提



《油木高校》

いりえりこ
入江 莉子
つだけん
津田 健人

交換研修制度を

町を良くするため若者に多くの経験をさせるべき。そのために、高校生ら若者が、すでにある海外研修制度ではなく、町と同じような環境の他地域で研修することができる交換研修制度を町として作っていただきたい。



《油木高校》

なかのまいか
中野 舞花
ゆのきまなと
油野木 愛音

シェアハウスで婚活を

田舎の良さを感じながら、男女の若者がシェアハウスで共同生活をする婚活。
☆古民家や空き家の補修、管理を町やブライダルセンターと連携してできないか。
☆食材の提供など農家の協力が得られないか。



《三和中学校》

なかむらひなた
中村 日葵
わたなべみさき
渡邊 美紗妃

提案します!! 耕作放棄地の有効利用

☆補助金+種や苗また耕作する人を提供し町内のお店で販売してもらって耕作放棄地を減らす。
☆景観に合うようなソーラーパネルを設置してはどうか。

町長講評

具体的に調査を行い研究された内容で執行者としても参考になり、一緒に取り組める事があるのではと感じた。内容も前向きで実施に向けた検討に入りやすいものとなっている。担当課と研究し実施できるものは予算も検討していきたい。

Thank you!

提言ありがとう
あなたたちは
町の希望です。

木と自然が感じられる

～ チョットおしゃれな
道の駅になりました～

182 STATION



道の駅リニューアル後、新設された182カフェ



【新メニューも続々開発】

産直売り場は、
明るい雰囲気にな
り、通路も広く
なった。

182カフェで
は、神石高原ポー
クを使ったサル
シツチャ・ホット
ドッグ。



地元産ポークを使ったホットドッグ

神石高原の生姜を使った
ピリツと大人の辛さのジン
ジャーエール。
黒豆とお餅の入った大判
焼きなど、地元の食材を
使って調理されたものを食
べることが出来る。
今後も、次々と新しい商
品が開発される予定だ。
地元の食材を使ったレシ
ピであればあなたのアイデ
アも、商品化されるかも。
一度お店の人に話してみ
ては如何でしょう。

まちの声

皆さんの要望・意見・感想など
主なもの

● 小学校スクールバスの運用
については過剰と思われる
サービスがあると感じます
のでお伝えします。

● 家まで迎え？
子供が全く歩かなくても
いいように家まで迎えに
行つてみたい。そこまで
やるか。

● 保育所児も？
保育所児は親と保育士が
毎朝晩手渡しが原則、保育
所児もスクールバス。休校
日はタクシー送迎、やりす
ぎじゃない？

● 図書館の運営について
月曜定休なのはわかるけ
ど、月曜日が祝日の時は、
定休日を火曜日に繰り下げ
てもらえないかな？
他の市区町村の機関はそう
してるところも多いみた
い。

● ふれあいタクシーは有難い
ことですが、若い人たちに
負担がかかるのは心苦しい
ことです。頑張つて頂いて
なくならないことを祈りま
す。

(80代 女性)

● テレビのドキュメント番組
などで過疎化・高齢化につ
いて取り上げることが多い
が、それを参考にした事例
があるので安全を前面に出
した人口増加をしてくださ
い。

(60代 男性)

● 大変立派な一問一答の筆さ
ばきです。益々のご健闘を
お願いいたします。

(90代 男性)

議会クイズにたくさんのご
応募ありがとうございました。
皆様からいただいた声を受けとめ、前向
きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 見えてきた
- ② 無償化
- ③ 応じた

第43回議会クイズ当選者

豊松地区

大坂 忠樹さん

おめでとうございませう！

議員との対話集会

本年度は中止

新型コロナウイルス感染症に係る拡大防止のため、本年度は中止と致します。皆様の大切な命を守るため、感染拡大防止にご理解とご協力をお願いします。



—昨年の対話集会(油木会場)

表彰 自治功労者

小川清治議員が在職27年以上、木野山孝志議員が在職15年以上の功績で全国町村議会議長会から。松本彰夫議長が在職30年以上の功績で広島県知事及び広島県町議会議長会から、藤田晃己議員が在職20年以上の功績で、広島県町議会議長会から表彰。



藤田議員

松本議員

木野山議員

小川議員

表彰

広報誌 コンクール 5連覇



「みんなの町議会第58号」が第34回町議会広報全国コンクールにおいて「奨励賞」広島県の第40回議会広報誌コンクールにおいて最優秀賞、第37回議会広報写真コンクールで最優秀賞の成績でした。この受賞を励みにさらに住民の皆様を読みやすくわかり易い広報誌を目指します。



受賞誌

元気なグループ紹介だよ!



油木地区 油木気功教室

教室では、呼吸とともにゆっくりと体を動かすことで、体の緊張を取り、体内の気(エネルギー)、血液、水分(リンパなど)の流れを良くしていきます。それが、病気を予防し、自然治癒力を高めることにつながります。立って、座って、寝転んで…



代表者 三好 貴子
連絡先 82・2802

いろいろな体操がありますので、自分の体調に合わせてやる事ができます。ゆったりと自分の体と向き合う時間です。

これからも、「自分の健康は、自分で守る」を目標に、体を動かし続けていきたいと思えます。

午前の部(油木コミュニティセンター)は、毎月第2、第4木曜日の10時〜11時30分。

夜の部(西油木寿楽荘)は、毎月第1、第3火曜日の19時30分〜21時まで行っています。

興味のある方は気軽に寄ってみてください。

発行責任者 議長 松本彰夫
住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 08471891340
FAX 084718514201

第44回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- 1 明日への〇〇
- 2 チョットおしゃれな〇〇〇
- 3 未来に向けて〇〇

ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地
神石高原町議会事務局「第44回議会クイズ係宛」

●締め切り

5月11日(月) 消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は6月です

編集後記

見えない敵、新型コロナウイルスとの戦いの中、3月定例会は換気をしながら無事に終わりました。財源不足が課題の新年度の予算編成では様々な議論が交わされました。今こそ町と議会はアイデア・知恵を出し合い、お互いに協働していく必要があります。将来もずっとこの町が、持続していけるように今がとても大事な時期だと感じています。新年度も広報誌を通じて皆様に、よりわかりやすくお伝えできるように、心がけていきたいと思えます。(素)

表紙の紹介



4月7日。元気に神石小学校に入学した児童たち。

議会広報常任委員会

委員長	赤木 俊二
副委員長	林 憲志
委員	木野山孝志
委員	横山 素子
委員	小川 善久